

**授賞****浦安環境共生都市コンソーシアムの  
都市ブランド向上のための取り組み****浦安環境共生都市コンソーシアム****〔授賞理由〕**

本業績は、2011年の東日本大震災による液状化で大きな被害を受けた千葉県浦安市において、浦安市、明海大学、民間企業9社が産・官・学対等な立場で参画、連携した「浦安環境共生都市コンソーシアム」の組成と、当コンソーシアムによる、低下した「浦安ブランド」の回復を目指し、災害に強くエネルギー効率に優れた環境に優しい街づくりの構想を進めるための一連の取り組みである。

大災害の発生という特殊状況にあつて、行政の予算措置なしに、半年あまりという短期間で、競合の可能性のある複数の民間企業が参加し、共通の都市課題に向けて議論・決議する場としてこのような産・官・学コンソーシアムの組成まで達成した例は稀有であり、高く評価することができる。また、既にコンソーシアムによって具現化した「自立型集会所」など、今後さらなる具体的成果が期待できる。

よって、本事業は、業績賞授賞に値する。

**<基本データ>**

名称：浦安環境共生都市コンソーシアム

発足：2011年11月15日

構成メンバー（授賞時点）：正会員12（行政1、大学1、民間企業10）、賛助会員2、オブザーバー3)

分科会構成（2012年度）：スマートシステム分科会、ヒューマンヘルス分科会、地域共生分科会、先進防災分科会

これまでの実績：HEMSを導入した一括受電マンションの建設、災害時に一定期間自立した日常生活を維持できるようなインフラを備えた「自立型スマート集会所」の整備

今後の展開：環境未来都市の申請